

来に関心を持ち、未来を学び、未来を創造する力を育んでいく機会を提供するため、小学4年生から中学3年生までを対象に貸切バスの費用を助成します。

不登校児童生徒につきましては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの相談体制を充実するとともに、校内サポータールームを中心とした教育支援センターの機能強化を図り、安心できる居場所の確保と子どもたち一人一人に寄り添ったきめ細かな支援を行います。

中学校部活動は、地域連携・地域展開に向けた取組を進め、地域クラブ活動への移行を段階的に進めます。

中学校体育館につきましては、空調設備を完備し、平常時には安全で快適な運動施設として、災害時には避難所として活用します。



新宮地域小中一貫校イメージ図

新宮地域小中一貫校につきましては、令和10年4月の開校に向け、校章や制服、通学手段等の協議・調整を進めます。また、新校舎の建設工事につきましても、周辺環境に配慮し計画的に進めます。

御津中学校につきましては、校舎の耐力度調査を実施し、最適な整備方針を検討します。

また、赤とんぼチャイムを防災行政無線による放送で市内全域に広めます。肥を行うなど漁場環境の保全を図るとともに、地元水産物のブランド化やPR活動を実施します。

岩見漁港の臨港道路の一部を加工場用地として整備し、漁業経営の効率化・安定化を図ります。

その3 地域資源を生かした観光を推進する

〔仮称〕たつの市観光振興計画の策定に向けた事前調査として、市内観光スポットの人流データ分析調査を実施します。

市制施行20年の節目を迎え、「たつの市民まつり」等を通じて、活力あふれるまちづくりの実践に努めます。また、観光協会をはじめとする関係団体と「龍野さくら祭」や「新舞子サンセットフェスティバル」、「しんぐうふるさとフェスタ」、「いぼがわ水辺フェスティバル」など、本市固有の地域資源を活用した多彩なイベントを開催し、交流人口の拡大に努めます。



参加者でにぎわうたつの市民まつり

こどもサイエンスひろばでは、特別講師を招いた「サイエンス特別教室」を開催します。

その2 生涯を通して学び、スポーツに親しめるまちをつくる

JR本電野駅周辺につきましては、公民館機能と市民ニーズに即した機能を備えた複合施設の整備に向け、基本構想の策定に着手します。

中学生に読書の機会を提供するため、定住自立圏構成市町の全ての中学生が電子図書館を利用できるよう、電子書籍の充実を図ります。

市町合併後初のオリンピック選手が誕生したマウンテンバイク競技につきましては、20周年記念事業の一環として、菖蒲谷森林公園で「全日本自転車競技選手権大会」を開催します。



菖蒲谷森林公園を疾走するマウンテンバイク

御津地域の人工芝多目的グラウンドにつきましては、誰もがスポーツに親しみ、交流できる施設として、本格的に整備を進めます。

〔大阪・関西万博〕におきましては、「ひょうご」EXPO 41 -HYOGO REGIONAL DAY- に出展するとともに、「ひょうご楽市楽座」に出展し、特産品販売やひょうごフィールドパビリオンをPRするなど、本市の魅力を国内外に発信します。

その4 にぎわいのある商工業を推進する

「たつのブランド」となる地場産品の付加価値を高めるため、「たつの皮革まつり」をはじめ、販路拡大及び地場産業のPRに努めます。

新たに商業地域内での創業支援を拡充し、JR本電野駅から重要伝統的建造物群保存地区へつながるルートにおいて誘客を促し、賑わいの創出を図ります。山陽自動車道龍野西IC周辺においては、地権者や企業に対し意向調査を実施し、新たな産業団地の整備手法を検討します。

また、労働力不足の解消と地元での就職を希望する方の就労促進を図るため、移住・定住の支援情報の提供・相談を含む対面での就職面接会やオンライン合同就職説明会の開催等による雇用支援に努めます。国民宿舎志んぐ荘では、館内照明をLED化し、利用者に快適な施設環境を提供します。

その3 歴史と文化を生かした個性的で魅力あるまちをつくる

重要伝統的建造物群保存地区で各種事業を展開し、PRキャラクター「まちやくん」を活用して、魅力を発信するとともに、地区特有の課題に対応する防災計画を策定します。

童謡の普及・振興につきましては、「三木露風賞新しい童謡コンクール」をはじめとする童謡事業を開催します。また、赤とんぼ文化ホールでは、老朽化した施設設備の整備や霞城館の空調機器を更新します。



魅力あふれる龍野伝統的建造物群保存地区

その4 互いの人権を尊重し、心豊かな社会をつくる

人権課題の啓発、相談を実施するとともに、部落差別の解消及びインターネット上の誹謗中傷や差別など様々な人権課題の解決に取り組みます。

第5の柱

ふるさとづくりへの挑戦 市民や地域と協働し、 地域力あふれるまち

その1 まちづくりを進めるための基盤を整える

世代に応じた情報発信を行うため、広報紙、ホームページ、SNSなどの多様な情報発信ツールを活用し、市政情報を効果的に届けます。SNSにつきましては、発信力の高い方に本市のPRを依頼し、市内外に広く情報を発信します。さらに、市勢要覧の作成、ホームページ、広報紙などを活用し、市制施行20周年の祝意を市民と共有できるよう効果的な情報発信に努めます。

その2 多様で活発な交流を促進する

令和7年10月1日に市制施行20年を迎えるにあたり、1年を通じて記念事業を展開します。10月5日(予定)には、「たつの市制施行20周年記念式典」を開催するとともに、市民が一体となって本市が歩む



市制施行20周年記念ロゴマーク

男女共同参画社会の実現と女性が活躍できる地域社会の形成を目指し、「第3次たつの市男女共同参画プラン」の策定に向けた基礎調査に取り組みます。

第4の柱

にぎわいづくりへの挑戦 新たな地域産業の創出と 観光立市を目指す にぎわいのまち

その1 次世代へ伝え育む農林業を活性化させる

追分地区において、暗渠排水を整備し、生産性の高い農地へ転換を図ります。金剛山地区において、自動給水栓の設置場所を拡大し、農作業の効率化や水災害リスクの軽減に取り組みます。さらに、農業用ため池の点検、機能診断に基づき防災対策とため池の管理体制を強化します。

20周年記念事業として、「ひょうご里山フェスタ2025」を開催します。

その2 活気ある水産業を推進する

漁業の担い手を育成する「がんばる海の担い手育成支援事業」や「つくり育てる漁業」として、稚魚放流や海中への施

べき未来に向けた道しるべとして、「たつの市民憲章」を制定します。

移住・定住の促進を図るため、東京圏内の大学に通う学生が本市へ移住するための移転費を助成します。また、30歳未満の若者に対する「奨学金返還支援事業」やこれから新生活をスタートする夫婦に対して、新居への引っ越し費用やリフォーム費用等、結婚生活に伴う費用を支援します。



若者・子育て世代を支援し移住・定住を促進

その3 健全で効率的な自治体運営を推進する

物価高騰などの社会経済情勢の変化に対応し、持続可能な自治体経営を推進するため、令和7年4月から公共施設等の使用料等及び下水道使用料を改定します。行政サービス水準の維持・向上と経費削減を徹底し、質の高い行政サービスを提供します。

行政手続のオンライン化を拡充します。また、電子決裁機能付き文書管理システムを導入します。マイナンバーカード関連の事務につきましては、申請書作成システムを導入し、事務手続きの効率化を図ります。